

「私立の先生になることも考えているけど、一体どうしたらいいのかな…」

と思っている大学生・大学院生の皆さん！



私立学校に勤める先生方が授業実践の報告を行う

**委託研究員研究成果報告会**に参加してみませんか？



一般財団法人

日本私学教育研究所

-The Education Institute for Private Schools in Japan-



研究所ホームページQRコード



私は学校の先生になりたいくて、私立学校の先生になることも考えているんだけど、私立学校はどこに求人が出ているのかよく分からないし、「私立は研修がない」という話もよく聞くし、しかも私はそもそも私立に向いているのかなあ？とにかく分からないことが多くて不安なんだよね…。

手始めに日本私学教育研究所の**委託研究員研究成果報告会**に行ってみたらどう？全国の私立学校の中から選ばれた先生たちが、文科省などからの補助を受けて自らの実践研究を報告する会で、報告会には多くの先生が参加するよ。

たくさんの私立学校の先生に会うことが出来るから、私立学校で先生をするというのがどんな感じなのか分かると思うよ。私立学校の教員採用に関しても質問をすれば相談に乗ってくれるよ。授業の実践報告は実際に先生になった時の役にも立つし、なんと無料で参加できるんだ！

東京から離れた地域に住んでるキミでも大丈夫！今年**は会場からのLIVE配信を視聴する形で報告会に参加することができるんだ！**

日本私学教育研究所は日本で唯一私立学校の初等・中等教育の振興を目的とした団体なんだ。私立学校の教員を対象とした研修事業・研究事業を行っているので、**私立学校の先生になった後に、初任者研修や中堅教員研修で関わることも多いよ！**

キミが私立学校の先生になった時に備えて、研究所の事業内容を知っておくだけでも参考になるはずだよ！



無料で参加できて、私立学校の様子分かるなら、講義もない春休み期間中だし、ちょっと行ってみようかな。LIVE配信でも見ることができるというのは、学生にとってはありがたいです！

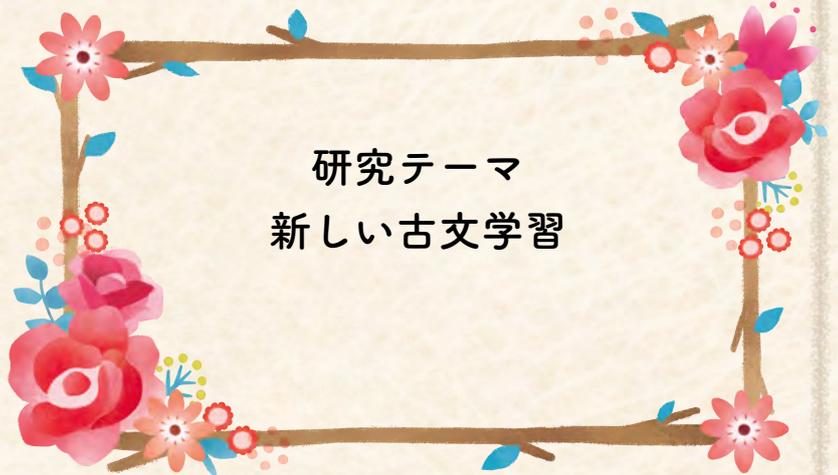


～令和元年度に委託研究員をされた先生からのコメント（次ページから）～

- ・早稲田大学系属早稲田実業学校中・高等部（東京都） 中矢 由花 先生（国語科）
- ・大商学園高等学校（大阪府） 井上 大輔 先生（地歴公民科）

# 令和元年度 委託研究員経験者の声

早稲田大学系属早稲田実業学校中・高等部(東京都) 中矢 由花 先生(国語科)



研究テーマ  
新しい古文学習



## Q1：委託研究員に応募した理由をお聞かせください

日々勤務校での授業準備やその他業務をしていく中で、自身の目的意識を高く持ち続け、新しい教育法や内容を常に考え、実践していく動機付けとしても良いと考えました、又、ふだん他校の教員の方々の実践報告を得る機会をなかなか持てないので、それを得るためにも良い、と考えたので応募致しました。

## Q2：研究活動を通じて生徒・学校・先生自身にとって良かった点がありましたか

「古文の授業とはこういうもの」と、今までに受けてきた授業にマンネリ化（又は苦手視）を感じていた生徒も、新しい試みを面白く感じたようで、自分たちで積極的に考察する等、喜びながら古文を学ぶようになりました。又、英語科との連携というテーマのため、英語科の先生方と討議を重ねましたが、英語科とは根本的に教育の方法や内容が違っていると分かり、今の学校教育そのもの（各教科に何を求めているのか）を考える機会にもなりました。

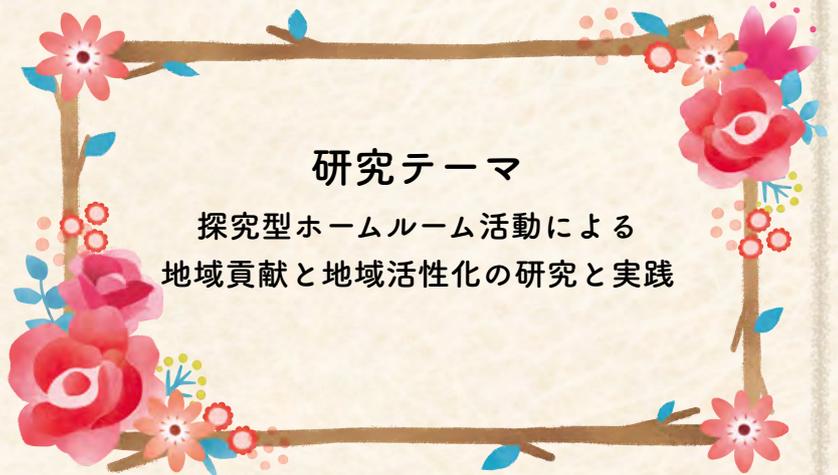
## Q3：委託研究員としての1年を終えての感想をお聞かせください

この研究のために色々な資料を読んだり、学生時代学んだけれども忘れてしまいつつあったものを思い出して学び直したり（国文学専攻で「文学」の身として、「言語学」の方を忘れつつありました）、他教科のことも学んだり、自分の担当科目の授業準備を超え、幅広く学び直すことができ、とても楽しかったです。幅広く学んだ分、アイデアも色々浮かび、より良いものを生徒に渡すための在り方を考えていく糧となりました。

## Q4：次年度以降の委託研究員にメッセージをお願いいたします

頭ではこうしたいと思いつつも、日々の業務の中で考えがまとまらなくなったり、新しいことを学ぶ時間が取れなかったりして結局「いつもの」授業になってしまうこともあると思います。委託研究員として、という気構えがあると、そういう自分を励ますこともできますし、他の先生方にも発信して一緒に考察・考案していく根拠にもなります。教育の在り方や入試制度等が変わる今だからこそ、より意義深い制度だと思えます。

令和元年度 委託研究員経験者の声  
大商学園高等学校(大阪府) 井上 大輔 先生(地歴公民科)



研究テーマ

探究型ホームルーム活動による  
地域貢献と地域活性化の研究と実践

Q1：委託研究員に応募した理由をお聞かせください

自分が今まで取り組んできた探究活動が、どれくらい影響のあるものなのかを全国の先生方に知っていただき、研究発表会の際にいただいた様々な意見をふまえて、更なる発展ができる探究プログラムを作りたかったから。

Q2：研究活動を通じて生徒・学校・先生自身にとって良かった点がありましたか

- ・探究教育に興味を持つ生徒・教員が出てきたこと。
- ・本校の取り組みを全国規模で知ってもらうことができた。
- ・HRの中で探究ができることが分かった。
- ・生徒の思考力、判断力、表現力が高まった。

Q3：委託研究員としての1年を終えての感想をお聞かせください

慣れないことも多く、周りの人との連携に時間を要したが、今まで本校でやっていなかったことを全国規模で行うことができ、大変良い経験となった。又、今回の研究の反省点を今後の私の教育活動の中で改善していき、より良い探究活動ができるようにしていきたい。

Q4：次年度以降の委託研究員にメッセージをお願いいたします

自分自身の取り組みと、全国中の私学の先生方の取り組みを比較することができ、今まで以上に自分の教育観を考える時間を作ることができます。是非、10年20年後の社会で活躍する人材を作るべく、先生方の持っている知識・技能を大いに使ってください。



# 令和2年度 委託研究員研究成果報告会のご案内

多くの私学&様々な教科・科目の授業実践についての報告会です！

私学教員を志望する大学生・大学院生の参加歓迎！

当研究所の本年度委託研究員による一年間の研究成果の報告会を、下記のとおり開催いたします。どなたでも無料で聴講できますので、振ってご参加ください。聴講をご希望の方はメールにてお申し込みください。会場に  
来場しての参加と、会場からのLIVE配信の視聴によるオンラインでの参加の二種類の参加方法がありますので、都合の良い参加方法を選択してください。



<開催日時> 第1回：令和3年 3月13日（土） 10：00～17：20  
第2回：令和3年 3月27日（土） 10：00～17：20

<会場> 主婦会館プラザエフ

<参加費> 無料



アクセス・交通



〒102-0085  
東京都千代田区六番町15

JR「四ツ谷駅」麴町口 徒歩1分  
東京メトロ丸ノ内線 「四ツ谷駅」  
1番出口 徒歩3分  
東京メトロ南北線 「四ツ谷駅」  
3番出口 徒歩3分

## ◆【第1回】 令和3年3月13日（土） 7階「カトレア」

9:30	10:00	10:20						17:20	
受付	開会式	研究成果報告A			昼食	研究成果報告B			質疑応答・講評・ 閉会式
		No.1～3	休憩	No.4～7		No.8～11	休憩	No.12～15	

## ◆【第2回】 令和3年3月27日（土） 9階「スズラン」

9:30	10:00	10:20						17:20	
受付	開会式	研究成果報告C			昼食	研究成果報告D			質疑応答・講評・ 閉会式
		No.16～18	休憩	No.19～22		No.23～26	休憩	No.27～30	

※昼食のご用意はいたしませんので、近隣の飲食店をご利用ください（昼食時間は13:00～14:00の予定ですが、報告人数により変動する場合がありますのでご了承ください）。

※運営上の都合により一部日程が変更になる場合もありますので、予めご承知おきください。

# 日程細目

第1回 令和3年3月13日(土) 会場：主婦会館プラザエフ

	10:00~10:20	開会式・日程説明
1	10:20~10:40	「本質的な問い」を中心にした歴史総合を見据えた授業デザイン (佐藤 竜之/啓明学園中学・高等学校/地歴公民)
2	10:40~11:00	協働学習を通じて学びを深める理科授業のユニバーサルデザイン (山田 紋/青稜中学・高等学校/理科)
3	11:00~11:20	自校史と主体的に向き合う生徒育成のための教育実践研究 (片山 健介/逗子開成中学・高等学校/地理歴史)
	11:20~11:40	休憩
4	11:40~12:00	SDGsの意識を涵養する社会科地理分野のカリキュラム開発 (砂川 真璃/立命館宇治中学・高等学校/社会)
5	12:00~12:20	「主体的・対話的で深い学び」を促す授業実践を目指した、教員のICTリテラシー習得への道のり (那須 敬弘/坂出第一高等学校/英語)
6	12:20~12:40	開星中学・高等学校「進学探究」コース設立への挑戦 (倉掛 裕喜/開星中学・高等学校/地歴公民)
7	12:40~13:00	『総合的な探究の時間を中心とした体験活動が非認知能力に及ぼす影響に関して』 (森永 武人/神戸学院大学附属中学・高等学校/英語)
	13:00~14:00	昼休み
8	14:00~14:20	総合的な学習を英語で行うCLIL授業とその効果的な評価についての研究 (白井 龍馬/横浜女学院中学・高等学校/英語)
9	14:20~14:40	中学数学科における「主体的・対話的で深い学び」に繋がる個別最適型授業の実践 (和田 直也/初芝富田林中学・高等学校/数学)
10	14:40~15:00	「博学連携」による思考力・判断力・表現力を育む日本史教育の考察と実践的研究 (會田 康範/学習院高等科/地理歴史)
11	15:00~15:20	ロボットと数学の融合授業による、AI型ディープラーニング授業の開発 (羽田 法寿/東山中学・高等学校/数学)
	15:20~15:40	休憩
12	15:40~16:00	「主体的で対話的な深い学び」の実現を目指した教員研修システムの開発と実践 (伊藤 佳貴/大同大学大同高等学校/英語)
13	16:00~16:20	言葉による「見方・考え方」を育てる高等学校国語科授業デザイン (岡田 智/名城大学附属高等学校/国語)
14	16:20~16:40	『主体的・対話的な学び』を実現する高等学校地理におけるフィールドワーク (高木 佑也/駒澤大学高等学校/地理歴史)
15	16:40~17:00	数学との教科横断を意識した物理実験の実践とその効果 (伊藤 慧/明治大学付属明治中学・高等学校/理科)
	17:00~17:20	講評(質疑応答を含む)・閉会式

# 日程細目

第2回 令和3年3月27日(土) 会場：主婦会館プラザエフ

	10:00~10:20	開会式・日程説明
16	10:20~10:40	異学年合同学習モデルの構築とその効果 (有馬 佑介/桐朋学園小学校/小学校全科)
17	10:40~11:00	ICEモデルに基づく、学校設定科目「数学探究I・II」の授業デザイン (安宅 隆/三浦学苑高等学校/数学)
18	11:00~11:20	粒子を基本単位として小・中学校理科の物質に関する学習を系統だてる (佐藤 雄一/聖ウルスラ学院英智中学校/理科)
	11:20~11:40	休憩
19	11:40~12:00	私学だからこそ「特別支援教育」を (上戸 綾子/長崎玉成高等学校附属中学部/音楽)
20	12:00~12:20	「主体的・対話的で深い学び」を実現する協働探究学習プログラム開発 (林 秀俊/岡山中学・高等学校/英語)
21	12:20~12:40	技術科における保健体育科の見方・考え方を働かせた教科横断型授業実践 (天川 勇二/野田学園中学・高等学校/技術・情報)
22	12:40~13:00	主体的に学び合う言語教育「ランゲージーツ」の研究 (高野 路子/北星学園女子中学・高等学校/国語)
	13:00~14:00	昼休み
23	14:00~14:20	「地理総合」を見据えたESD授業の開発と実践 (松下 直樹/愛光中学・高等学校/地理歴史)
24	14:20~14:40	グローバルとローカルの間立つ教育 (松村 康平/広島学院中学・高等学校/社会)
25	14:40~15:00	SDGsを活用した「主体的で深い学び」を目指す実践の研究 (小篠 幸/関西大学第一中学・高等学校/数学)
26	15:00~15:20	「だれのために学ぶのか」を意識した授業づくり (山本 賀世/帝塚山学院中学・高等学校/英語)
	15:20~15:40	休憩
27	15:40~16:00	電子書籍を活用した読書指導の実践研究 (伊吹 侑希子/京都学園中学・高等学校/国語)
28	16:00~16:20	PBL型国際協力授業における生徒達の主体性や対話を引き出すための言葉かけに関する研究 (山名 和樹/聖徳学園中学・高等学校/総合的な探究の時間)
29	16:20~16:40	「メディア情報リテラシー、ICT活用能力、思考のプロセス、および学校図書館活用教育」を包括的に捉えた指導体系表の開発 (有山 裕美子/工学院大学附属中学・高等学校/国語)
30	16:40~17:00	中高一貫教育校における幾何教育カリキュラムの現状調査研究 (赤間 祐也/武蔵高等学校・中学校/数学)
	17:00~17:20	講評(質疑応答を含む)・閉会式

# 一般財団法人日本私学教育研究所

## 令和2年度委託研究員 研究成果報告会 参加申し込み方法

必要事項を入力して下記アドレスまでメールを送ってください。

☆氏名・ふりがな

☆大学（大学院）名・学部（研究科）・学年

☆参加希望日時（3/13午前・3/13午後・3/27午前・3/27午後）

☆希望する参加形態（会場・LIVE配信）

一般財団法人 日本私学教育研究所

研究係メールアドレス：[kenkyu-kenshu@shigaku.or.jp](mailto:kenkyu-kenshu@shigaku.or.jp)



研究所メールアドレスQRコード

※新型コロナウイルス感染拡大状況を踏まえ、令和2年度の当研究所が主催する各種研修会等は以下の通り対応いたしますので、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

・実施の3ヶ月前を目途にその可否を決定いたしますが、状況次第では参加者募集開始後に「延期」または「中止」することもあります。その際は実施の概ね2週間前に決定いたします。いずれの場合も当研究所ホームページでお知らせいたしますので随時ご確認ください。

・受付時の参加者の検温および手指の消毒、会場・備品の消毒・換気、座席の間隔を広げ、人と人の距離をとるなど「3つの密」の回避に努めます。

・講師ならびに運営関係者・スタッフはマスク（場合によってはフェイスシールド）を着用します。

・参加者にはマスクの着用をお願いします。当日37.5度以上の熱のある方、体調の優れない方などは参加をお断りすることがあります。

・感染拡大状況によっては、会期の短縮、プログラムの変更、受入人数の調整などを行う場合があります。

（問い合わせ先）一般財団法人 日本私学教育研究所

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-3-8 市ヶ谷UNビル6階

TEL：03-3222-1621 FAX：03-3222-1683 担当：相田・高橋



研究所ホームページQRコード

# 私立学校の先生を目指す大学生・大学院生の方へ

## ～私立学校の求人情報などに関するお得な情報～

「公立は採用試験をやっているけど、私立は採用試験はないんですか?」「私立学校の先生になりたいけど、どこに求人情報があるのか分からない」「大学でも私立の採用に関してはあまり情報がないんです」・・・といった学生さんからの悩みを多く耳にします。そんな学生さんのために、私学の教員採用に関する情報をお伝えします。

### ①日本私学教育研究所の「教職員採用情報」をCheckする!

日本私学教育研究所のHPには、全国各地の私立学校の教職員採用情報が掲載されています。求人情報は毎日更新されますのでPDFファイルを確認してみましょう（研究所の研修会のある時期などは、更新されないことがあります）。具体的な応募方法や条件は各学校により異なりますので、採用に関する問い合わせは各学校をお願いいたします。



教員採用情報ページQRコード

### ②「私学適性検査」を受検する!

各都道府県には私学協会というものがあります。私学協会によっては「私学適性検査」を行っている協会があります。この適性検査を受検することで、私立学校に適性検査の情報などが届き、受検者に採用に関する連絡（適性検査の次のステップとしての、学校ごとの試験や面接等に関する連絡）がいく場合があります。過去問の販売や実施時期は実施している都道府県の私学協会によって異なるので、必ず実施している都道府県の私学協会のホームページ等を確認してください。

※私学適性検査を実施している都道府県

[群馬県私立小・中・高等学校協会](#)・[一般財団法人東京私立中学高等学校協会](#)・[静岡県私学協会](#)・[愛知県私学協会](#)・[兵庫県私立中学高等学校連合会](#)・[広島県私立中学高等学校協会](#)・[福岡県私学協会](#)

### ③「履歴書預かり」の制度を利用する!

私学協会によっては「履歴書預かり」を行っている協会があります。私学協会に履歴書を送り、そのデータを私立学校が見て、履歴書を預けた人に連絡を行うというものです。これも各都道府県の私学協会によって制度が異なるので、各協会のホームページを確認してみてください。

## 私立学校教員を目指す大学生・大学院生の皆さんへアドバイス

～私学を目指すなら、ぜひ、こういう人であって欲しい！～



私学は、各学校が掲げる建学の精神に共感できれば、一つの場所で志高く、自分が理想とする教育の実践をすることができます。ただし、教育という未来を創る仕事だけに、私学教員としては次の五つの要素が必要となります。

「情熱」 どんな状況になろうとも情熱を持って取り組むことができる人

「愛情」 生徒を愛し、共に働く人を愛し、学校を愛することができる人

「技術」 常に最新技術を取り入れ、自分の教育技術を向上し続けることができる人

「感性」 多様性の時代の中で、自己の感性を豊かに育むことのできる人

「倫理観」 人の上に立って教え導く立場故に、より厳しく自己を律し行動できる人

情熱・愛情・技術・感性・倫理観を持ち、生徒と共に誰よりも自己の成長を楽しみたいと思っている方に私学教員を目指してほしいと思います。



学校法人福井精華学園 啓新高等学校  
理事長・校長

荻原 昭人 先生



大阪夕陽丘学園高等学校  
校長

片山 豊 先生

なぜ「私学」の教員になりたいのかをしっかりと考えてほしいと思います。「私学」は、創設者個人の教育への深い思いと、熱いこだわり、つまり個人の哲学（建学の精神）がそこにあります。そして、その思いに賛同した仲間（教職員はもちろんのこと、生徒・保護者・その他支援して下さる方々など）が集う学び舎こそが、「私学」なんです。そこはまさに「理想」を「現実化」するための「場」であります。新しい時代を切り拓かんとする若者とともに歩む教師こそが「私学人」とであると私は考えます。

あなたには私学で「現実化」したい「理想」がありますか？しっかりとした熱いビジョンを持った「私学人」となって、生徒と一緒に学び続けられる人が私学教員を目指してくれることを期待しております。

# 委託研究員制度紹介&

## 経験者による対談動画を公開！

現在、研究所ホームページにおいて、委託研究員を経験された先生方による対談動画を公開しています。

対談前半の「委託研究員としての活動を振り返って」では、研究員への応募～委託研究員としての一年～終了後の自身や生徒の変化について、ざっくばらんに語っていただきました。

対談後半の「教員を志す大学生・大学院生に向けて」では、昨今の教員不足を踏まえた「もっと教員になりたい人が増えてほしい！」という願いや、「教師」という職業に対する想いを語っていただきました。

現職の先生方にとっては、委託研究員としての活動や他校の様子を知る資料として、教師を志す大学生・大学院生の方にとっても、「教師」という仕事に関する理解が深まると同時に、教育現場の様子が分かる貴重な動画となっています。ぜひ、ご覧ください！



早稲田大学系属早稲田実業学校中等部・高等部

中矢 由花 先生（国語科）

令和元年度委託研究員

早稲田大学系属早稲田実業学校中等部・高等部

佐藤 貴明 先生（英語科）

平成30年度委託研究員

研究所HPの委託研究員関連ページには、こちらのQRコードからも入ることができます！





## 所在地

〒102-0073

東京都千代田区九段北4-3-8 市ヶ谷UNビル6階

TEL: 03-3222-1621

FAX: 03-3222-1683

## アクセス

JR総武中央線 市ヶ谷駅 徒歩5分

東京メトロ有楽町線・南北線、都営新宿線 市ヶ谷駅 A4出口徒歩3分

一般財団法人

日本私学教育研究所

-The Education Institute for Private Schools in Japan-




ホームページQRコード